



こころつなく。笑顔かがやく。



MOROZOFF View

第96期 報告書 2025年2月1日～2026年1月31日

中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」 Step2～Step3に向けて。

代表取締役社長 山口信二



株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価の上昇が続いていることから節約志向がますます強まっており、消費者の商品や価格への選別の目は厳しさが増しております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、現在の中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」に基づく焼菓子戦略やコスト抑制戦略を着実に進めております。

その結果、第96期の業績につきましては、「当期の概況」に記載のとおりとなりました。

中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」 Step1を終了しました。

当社は、2031年8月に迎える創立100周年を見据え、中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」を3段階のStepに分けて推進しております。

Step1(2024年1月期～2026年1月期)の最終年度である2026年1月期は、「焼菓子」を核とした「戦略基盤の確立」に取り組み、焼菓子増産に向けた新船橋工場および西神第2工場などへの約83億円の大型設備投資の着工や新たな焼菓子ブランドの開発着手、物量増加に備えた物流体制の再構築など、Step2以降の成長に向けた土台を築きました。しかしながら、売上高は当初計画の35,500百万円に対して36,273百万円と

目標を達成したものの、想定を超える急激な原材料価格の高騰や人件費の上昇が利益を圧迫し、営業利益は当初計画の2,290百万円に対して1,264百万円と目標を下回りました。

Step2～Step3に向けて。

Step1の結果を踏まえ、Step2～Step3では業績の回復とさらなる成長に向けた戦略を着実に実行し、創立100周年である2032年1月期には過去最高水準の業績を目指します。

Step2(2027年1月期～2029年1月期)では、「戦略実行の加速」をテーマに、利益回復基調へ変革し、事業成長と利益拡大を軌道に乗せることを目指します。

最終段階である「Step3」(2030年1月期～2032年1月期)では、「戦略テーマの実現」を図り、成長・利益拡大を本格化させ、創立100周年の集大成の年に、売上高410億円、営業利益30億円、営業利益率7%以上を達成することを目標といたします。また、資産効率を示すROAを新たな経営指標とし、最終年度の目標を9%に設定しました。同時に、資本効率を示すROEについても目安である8%水準への早期回復を目指し、企業価値の最大化を図ります。

創業以来受け継がれる「最高のおいしさ、安心・安全な品質、最良のサービス」を追求する精神のもと、すべてのお客様に笑顔をお届けするとともに、皆様から愛され、信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

売上面につきましては、消費者の節約志向の影響もあり洋生菓子等の自家需要の低迷がみられましたが、新ブランドやイベントの展開を進め、クッキーなどの焼菓子の売上獲得に努めたことやバレンタイン商戦が好調だったことにより、国内は堅調に推移しました。一方、海外では香港の子会社での春節の売上が当該期間に計上されなかったことにより大きく売上が減少した結果、当連結会計年度の売上高は36,273百万円(前期比0.7%増)となりました。

損益面につきましては、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組みましたが、カカオを中心とした原材料価格が高騰したことで売上原価が大幅に上昇したことにより、営業利益は1,264百万円(前期比38.6%減)、経常利益は1,286百万円(前期比38.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は642百万円(前期比54.6%減)となりました。



喫茶・レストラン事業
5.7%(2,073百万円)

その他菓子
2.2%(804百万円)

洋生菓子
22.8%(8,284百万円)

売上高総計
36,273百万円

区分別売上高比率

洋菓子製造販売事業
94.3%(34,199百万円)

干菓子
69.2%(25,111百万円)

洋菓子製造販売事業の概況

干菓子につきましては、百貨店等の店舗退店や香港の子会社での春節の売上が当該期間に計上されなかった影響はありましたが、素材と製法にこだわった新体験カスタードスイーツ専門店「CUSTA」3号店の日本橋



三越本店へのオープン(2025年4月)、北海道産発酵バターを使用したガレット専門店「太陽のガレット」1号店の西武池袋本店へのオープン(2025年9月)、焼菓子を楽しむ新イベント「ベイクフルデー」の開催などにより焼菓子の売上獲得に努めました。また、万博向け商品の発売による売上貢献やバレンタイン商戦が好調だったこともあり、前期を上回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、2024年に発売55周年の記念商品を販売したチーズケーキの反動による減少に加え、消費マインド低下による買い控えの影響などにより、前期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は34,199百万円(前期比0.5%増)となりました。

喫茶・レストラン事業の概況

喫茶・レストラン事業につきましては、メニュー改変等による実質的な価格改定により、売上拡大を図った結果、売上高は2,073百万円(前期比4.8%増)となりました。

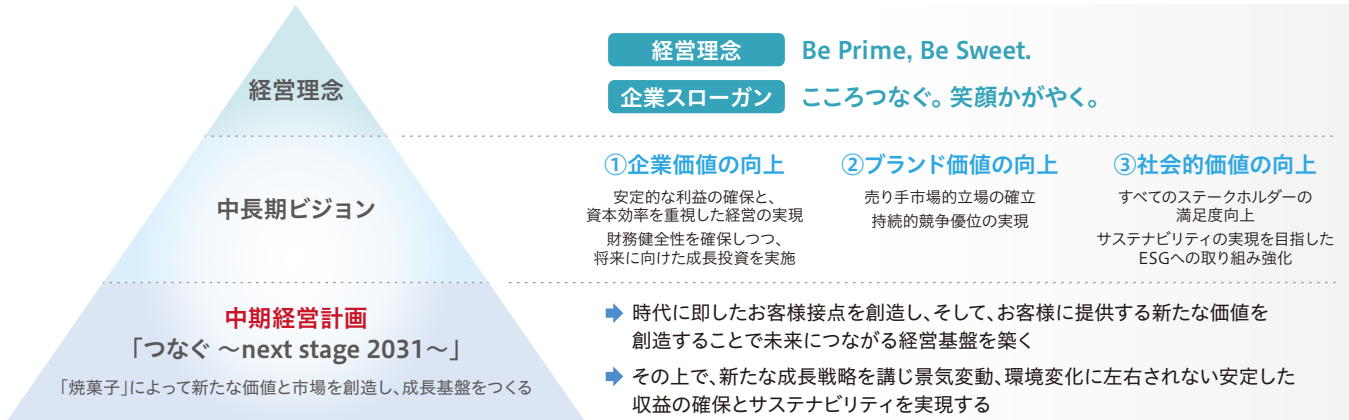


つなぐ ~next stage 2031~ 「Step2~Step3」について

当社グループは、2031年の創立100周年を見据えた中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」を3段階のStepに分けて推進しております。2027年1月期にスタートしたStep2(2027年1月期~2029年1月期)では成長に向けた戦略実行を加速させ、続くStep3(2030年1月期~2032年1月期)ではさらに成長・利益拡大を本格化させ企業価値の最大化を目指します。

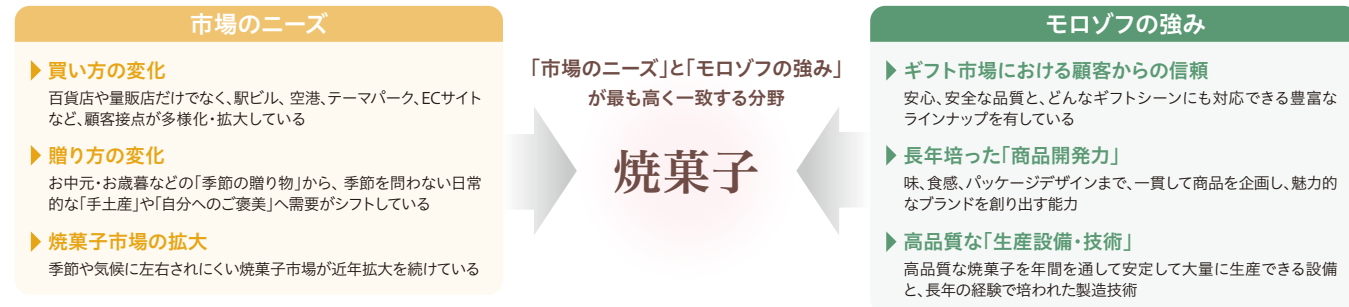
【中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」(2024/1期~2032/1期)のコンセプト

創立100周年となる2032年1月期に向けて、「焼菓子」を成長戦略の中心に据えた3つの戦略テーマを掲げ、『未来につながる経営基盤の構築』と『安定した収益の確保』の実現を目指しております。



【「焼菓子」を成長戦略の中心に据える背景

変化する市場環境への確に対応し、自社の競争優位性を最大限に発揮できる最適な商材として、「焼菓子」を未来の成長を担うエンジンとして強化します。



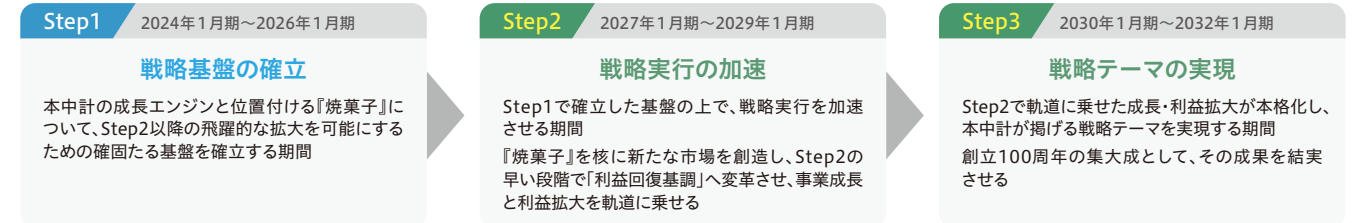
【創立100周年(2032年1月期)に向けたシナリオ

足元は厳しい経営環境にありますが、Step1で掲げた「戦略基盤の確立」に基づき、大型設備投資を着実に実行します。これにより、Step2の早い段階で「利益回復基調」へ変革し、創立100周年の目標達成を目指します。



【V字回復に向けたStep2以降の位置づけ

2026年1月期に一時的に低下した収益性のV字回復を実現すべく、Step1にて確立した戦略基盤に基づき、続くStep2およびStep3における各々の位置づけを明確にしました。



【100周年(2032年1月期)の経営目標

2032年1月期に過去最高水準となる「連結売上高410億円、営業利益30億円(営業利益率7%以上)」の達成を実現します。

さらに、大型設備投資の効果を最大化すべく、ROAを新たな経営指標として導入し、最終年度に9%の達成を目指します。同時に、ROEについても、資本効率の目安である8%水準への回復を果たします。

連結	Step1 2026年1月期実績	Step2 2029年1月期目標	Step3 2032年1月期目標
売上高	36,273 百万円	37,800 百万円	410 億円
営業利益	1,264 百万円	1,900 百万円	30 億円
営業利益率	3.5%	5.0%	7.0%以上
ROA*	4.8%	5.9%	9.0%
ROE			8.0%

※ ROAは総資産経常利益率

「太陽のガレット」西武池袋本店に全国初登場



2025年9月17日、西武池袋本店の食品フロアがリニューアルオープンし日本最大級のデパ地下として生まれ変わり、当社は全国初登場のヨーロッパ伝統菓子“新”ガレット専門店「太陽のガレット」をオープンしました。

主力商品である「太陽のガレット(くるみ)」や季節限定商品などの販売が好調で、順調なスタートを切りました。これを機に、ブランド価値向上につなげてまいります。



太陽のガレット(くるみ)
甘く香ばしいくるみを混ぜ込んだスペシャルティ



太陽のガレット

北海道産 発酵バター使用 “太陽の恵み”を楽しむガレット専門店
焼き菓子の決め手「バター」 風味豊かで濃厚な味わいの発酵バターをたっぷりとしたこだわりの“伝統菓子”には素材ひとつひとつの太陽の恵みをつめこんで黄金色の焼き菓子をお楽しみください。

京都宇治抹茶スイーツ専門店「茶久利」京都高島屋S.C.店に新登場



2025年10月23日、モロゾフ エクラ京都高島屋S.C.店のリニューアルオープンに合わせ、京都限定の宇治抹茶スイーツブランド「茶久利(さくり)」が新登場。

日本一の茶師監修の京都宇治抹茶“天緑”^(※)を使用した、新たな「和」洋菓子を多数取り揃えました。また、「抹茶」「煎茶」の販売も実施しております。抹茶というブランドコンセプトをお伝えする絶好のポイントを生かし、海外のお客様へのアピールにもつなげてまいります。



お濃茶サブレと小豆餡
京都府産宇治抹茶を使用したサブレとあずきソース



茶久利

京都府産宇治抹茶の深い香りと濃厚な旨味。
茶師が厳選したこだわりの一番茶を使用し、抹茶の美味しさを最大限に引き出した新たな「和」洋菓子をご堪能ください。

(※)天緑：全国茶審査技術競技大会で三度優勝した、京都の茶師・森田治秀氏が監修した、オリジナルの宇治抹茶。

新たな記念日 9月9日 BAKEFUL day(ベイクフルデー)

9/9

ベイクフルデー

BAKEFUL day

焼き菓子を楽しむ日

焼き菓子をもっと気軽に、もっと自由に
楽しんでもらうためのイベント

「BAKEFUL day(ベイクフルデー)」^(※)を
9月9日に制定しました。

クッキーやシュークリーム、カフェ限定メニューなど、
焼き菓子の魅力をたっぷりお楽しみいただける
期間限定商品を全国にお届けしました。

(※)日本記念日協会登録済



制定した理由

焼き菓子の日「ベイクフルデー」は、「BAKE:焼き菓子」と「FUL:満ちた」を組み合わせた造語です。
焼き菓子のおいしさをお届けし、焼き菓子によって心豊かなひとときを多くの人に楽しんでもらうために制定しました。
焼き菓子をもっと気軽に、もっと自由に楽しんでもらうために、「ベイクフルデー」を通して、心もおなかも満たされるような、そんな幸せをお届けしてまいります。

商品一例 ベイクフルデー

ころんと可愛らしいフォルムに、ナッツの香ばしさとサクッと軽い食感が特長のクッキーです。個包装された食べきりサイズで、気軽にお楽しみいただけます。その日の気分やシーンに合わせて選べる3種類ずつの詰合せを期間限定で販売しました。

Line up!



華やぐ気持ち

ベイクフルデー -ブライトタイム-
フレーズ・ビスターシュ・ミックスナッツ



心やすらぐ

ベイクフルデー -メロウブレンド-
アーモンド・カシューナッツ・チョコレートチップ



大人の贅沢

ベイクフルデー -トワイライトリクス-
マカダミアナッツ・チーズ・マロン

土産新商品

神戸ポートタワークリースピーショコラ いちご

当社は新市場戦略の一つとして土産市場への展開を進めております。
モロゾフのルーツである神戸エリア限定の土産新商品が登場しました。
サクサクのシリアルが入ったいちご顆粒入りのホワイトチョコレートが神戸のシンボルのポートタワーになりました。



2026 VALENTINE'S DAY

1932年、日本ではじめてバレンタインにチョコレートを贈るスタイルを紹介したモロゾフ。
2026年のバレンタインに登場した新しい2つのブランドをご紹介します。



赤い果実、甘い魔法、りんごに恋した女の子。



りんごひめアステル

赤い果実、甘い魔法。りんごに恋した女の子。

100年に一度の星降る夜に現れた、
たったひとつの煌めくりんご。
ひと口かじったそのときから
アステルの世界は
まるで魔法にかけられたよう。

赤い果実に恋したアステルは
いつしかりんごひめと呼ばれるようになりました。



星降る夜のりんごの木

星をまとったりんご



春の息吹にそっと
品よく、私らしく「ありがとう」を伝える。

GISÈLE®
ジゼル

友だち、家族、お世話になった方々
そしてかけがえない自分へ。
愛をこめて花束を。

パリジェンヌ「ジゼル」が大切に
3つのライフシーンに寄せて。



コフレフルール

レディブーケ

大阪・関西万博 イタリア館 ウンブリア州週間セミナーに参加しました

2025年8月31日～9月6日、大阪・関西万博イタリア館において「ウンブリア州週間」が開催されました。その中で、8月31日～9月2日の3日間にわたり、音楽や観光、食などをテーマに、現地からの登壇者や日本の専門家を迎え、各種セミナーやプレゼンテーションが実施されました。

当社は、山口社長、鈴木常務および商品企画部長などを中心に、9月2日の「チョコレート産業」に焦点を当てたプログラムに参加しました。セミナーでは、ウンブリア州大統領およびペルージャ市長をはじめ、ウンブリア州の代表の方々からご挨拶がありました。当社からは山口社長の挨拶に加え自社商品をお贈りしました。

深いご縁で結ばれた両都市との交流を通じて、これまで育まれてきた愛と友情の物語を、モロゾフのバレンタインの歴史として今後も大切にしていまいります。



ミャクミャクナッツクッキー

大阪・関西万博の
公式キャラクター「ミャクミャク」が
デザインされた商品を
関西の限定店舗で販売しました。



個人投資家向け会社説明会を開催しました

2025年11月18日、個人投資家向け会社説明会をオンラインで開催しました。説明会では、山口社長より、日本に「バレンタイン文化」を創造し、市場を牽引してきた当社の歴史や、中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」における、当社の強みを最大限に活用した戦略の説明がなされました。約400人がライブ配信をご視聴され、個人投資家の皆様の高い関心と当社への期待を感じることができました。今後も、透明性の高い情報開示と積極的な対話を通じて、個人投資家の皆様との関係をより強固なものにしてまいります。

■ ホームページに資料および動画を掲載しています

https://www.morozoff.co.jp/company_ir/ir_library05.html



財務ハイライト(連結)

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2025年1月31日現在)	当期 (2026年1月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		15,293,576	13,426,709
固定資産		10,297,437	14,736,524
有形固定資産		7,104,385	10,661,616
無形固定資産		219,522	230,152
投資その他の資産		2,973,529	3,844,756
資産合計		25,591,013	28,163,234
(負債の部)			
流動負債		5,412,268	6,954,247
固定負債		695,497	1,335,601
負債合計		6,107,765	8,289,848
(純資産の部)			
株主資本		18,939,136	18,918,745
資本金		3,737,467	3,737,467
資本剰余金		3,924,810	4,009,854
利益剰余金		12,641,274	12,846,236
自己株式		△ 1,364,417	△ 1,674,812
その他の包括利益累計額		544,112	954,639
その他有価証券評価差額金		461,392	616,946
土地再評価差額金		290,138	284,238
為替換算調整勘定		107,985	97,956
退職給付に係る調整累計額		△ 315,404	△ 44,502
純資産合計		19,483,248	19,873,385
負債・純資産合計		25,591,013	28,163,234

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)	当期 (2025年2月1日から 2026年1月31日まで)
		金額	金額
売上高		36,017,735	36,273,371
売上総利益		18,291,862	17,523,175
営業利益		2,058,795	1,264,948
経常利益		2,098,218	1,286,269
税金等調整前当期純利益		2,134,169	1,088,654
親会社株主に帰属する当期純利益		1,414,986	642,902

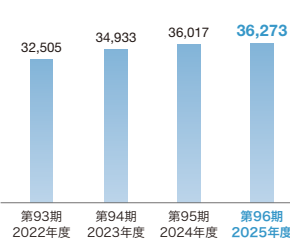
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)	当期 (2025年2月1日から 2026年1月31日まで)
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 561,218	399,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 679,316	△ 2,153,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,822,737	276,832
現金及び現金同等物に係る換算差額		17,161	△ 7,895
現金及び現金同等物の増減額		△ 3,046,110	△ 1,485,064
現金及び現金同等物の期首残高		6,640,761	3,594,650
現金及び現金同等物の期末残高		3,594,650	2,109,585

■ 売上高

(百万円)

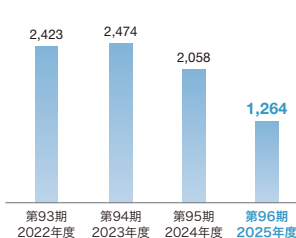


362億73百万円

(前期比 0.7%増)

■ 営業利益

(百万円)

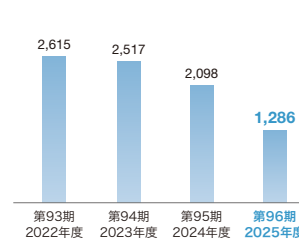


12億64百万円

(前期比 38.6%減)

■ 経常利益

(百万円)

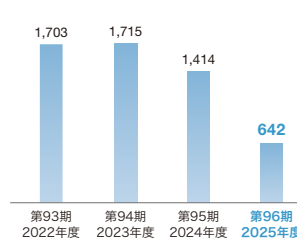


12億86百万円

(前期比 38.7%減)

■ 当期純利益

(百万円)



6億42百万円

(前期比 54.6%減)

第97期の予想

第97期(2026年2月1日~2027年1月31日)につきましては、売上高では、国内において、継続的な物価上昇により消費者の節約志向は強まっているものの、新焼菓子ブランドの出店による売上増などが見込まれることや、海外において、2026年1月に計上されなかった香港の子会社での春節売上が計上される見込みです。損益面では、新工場の稼働に伴う減価償却費の増加、原材料価格の継続的な上昇、最低賃金上昇による人件費の増加などのコストアップ要因が見込まれます。これらの要因に対し、価格改定や商品設計の見直しなどの原価低減対策を実施し、また工場・店舗における生産性の向上を図ります。

■ 業績予想(連結)

(単位:百万円)
(%は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第97期(予想)	36,820	1,310	1,350	770
	1.5%	3.6%	5.0%	19.8%

■ 配当予想

(単位:円)

	中間	期末	合計
第96期	6	10	16
第97期(予想)	6	10	16

■ 株主様に対する特典 基準日:7月31日(年1回)

毎年7月末時点で100株以上を半年以上保有の株主様を対象に株主優待を実施しております。

優待品 自社商品または株主優待券 ※下表の自社商品および株主優待券の写真は見本です。実際の優待品と異なる場合があります。

		保有株数		
		100~299株	300~2,999株	3,000株以上
保有年数	半年以上3年未満	<p>1,000円相当の自社商品</p>	以下から1つ選択 <p>優待券5冊(20枚綴)</p> <p>2,000円相当の自社商品</p>	以下から1つ選択 <p>優待券10冊(20枚綴)</p> <p>3,000円相当の自社商品</p>
	3年以上	<p>2,000円相当の自社商品</p>	以下から2つ選択 <p>優待券5冊(20枚綴)</p> <p>2,000円相当の自社商品A</p> <p>2,000円相当の自社商品B</p>	以下から2つ選択 <p>優待券10冊(20枚綴)</p> <p>3,000円相当の自社商品A</p> <p>3,000円相当の自社商品B</p>

- 自社商品または株主優待券は、11月下旬頃に発送いたします。
- 株主優待券の有効期限は、翌々年5月31日です。
- 株主優待券は当社の指定店および通信販売で優待券1枚につき割引前本体価格1,000円までのお買い上げ、ご飲食に対して20%を割引いたします。

- 半年以上保有の株主様は株主名簿(7月31日現在と1月31日現在の年2回発行)に、同一の株主番号で、2回以上連続で記録された株主様といたします。
- 3年以上保有の株主様は株主名簿に7回以上連続で記録された株主様といたします。

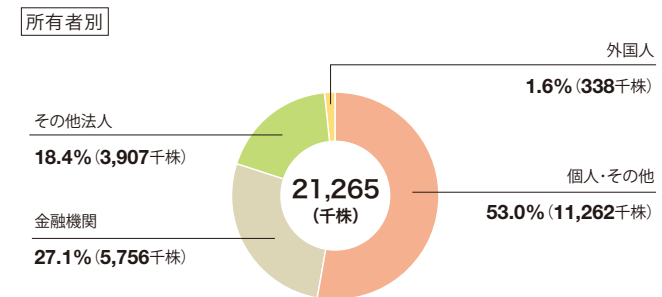
■ 株式情報

■ 株式の状況(2026年1月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株	株主数	27,738名
発行済株式の総数	21,265,356株	うち単元株主数	20,290名

(注)2026年1月30日開催の取締役会決議に基づき、2026年2月9日に自己株式700,000株を消却したため、発行済株式の総数は20,565,356株になりました。

■ 株式分布状況(2026年1月31日現在)



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 https://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
お手続き用紙のご請求は、インターネットでも承っております。
インターネットホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

表紙の商品について

フルーツ オブ フルーツ

繊細なフルーツゼリーの中に、
みずみずしい国産果実を閉じ込めて。
果肉とゼリーの2種のフルーツが織りなす
贅沢な果実のマリアージュが、
夏を彩る上品なおいしさです。



モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地

☎078-822-5000(代表)

(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)

会社概要 (2026年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	1931年8月8日
従業員数	547名(連結:573名) (注)上記従業員の他、執行役員(委任型)、嘱託社員および 臨時従業員がおります。
上場取引所	東証プライム市場(証券コード:2217)
事業所	〈営業所〉 本社(神戸) 御影オフィス併設・六甲アイランド オフィス(神戸)・関西支店(神戸)・東京支店・ 福岡支店・北海道営業所(札幌)・仙台オフィス・ 名古屋オフィス 〈工場〉 西神工場(神戸)・六甲アイランド工場(神戸)・ 船橋工場・福岡工場・札幌工場

役員 (2026年4月24日現在)

代表取締役社長	山口 信二
代表取締役副社長(マーケティング本部長)	鈴木 正人
代表取締役専務(経営統括本部長)	磯野 健治
常務取締役(生産本部長)	高田 耕治
取締役(営業本部長)	佐々木 誉之
取締役	笠原 かほる
取締役	森澤 武雄
取締役(常勤監査等委員)	木村 雅一
取締役(監査等委員)	渡邊 純子
取締役(監査等委員)	松尾 茂樹

(注)笠原かほる、森澤武雄、渡邊純子、松尾茂樹の各氏は、社外取締役であります。